

今週の内容

- ・ 感染症流行状況
- ・ 定点医療機関コメント
- ・ 全数把握感染症
- ・ トピックス
集団かぜの患者発生状況について
(平成 18 年 1 月 18 日現在)
- ・ 病原体検査情報
平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況速報
- ・ 感染症だより (12 月後半・1 月前半)
- ・ WHO 疫学週報
2006 年 1 月 6 日 (81 巻 1 号)
2006 年 1 月 13 日 (81 巻 2 号)

感染症流行状況

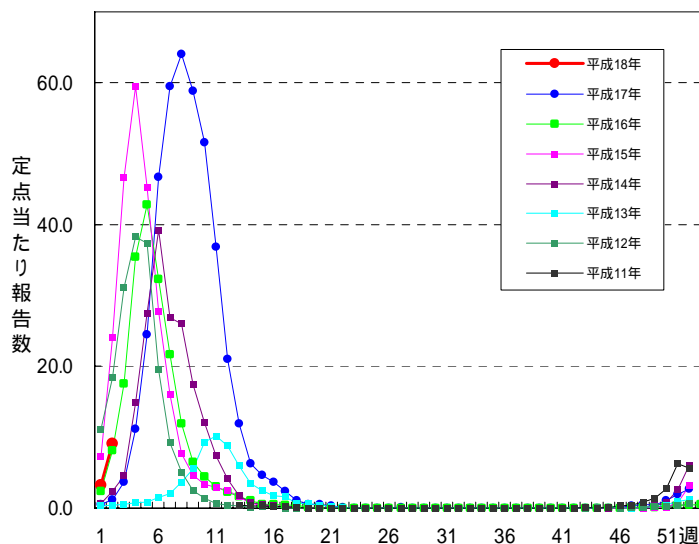
注意する感染症

インフルエンザ報告数は、1 定点当たり 9.1 人と前週に比べて約 2.8 倍に増加しています。現在、県内の 7 保健所 (市) において注意報* が出ています。今期のインフルエンザは流行期に入り、今後も患者の増加が予想されますので、うがいや手洗いの励行等、予防に心がけて感染を防ぎましょう。

* 注意報・警報について

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムでは、インフルエンザの流行発生注意報は保健所 (市) 定点当たり 10 人を越えた場合に、また、流行発生警報は 30 人を越えた場合に発生し、10 人を下回るまで継続します。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

インフルエンザ



愛知県におけるインフルエンザの流行逐次予測について

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infyosoku.html>)

インフルエンザ関連情報リンク集 (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html)

その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

愛知県感染症情報センター (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

国立感染症研究所感染症情報センター (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

麻しん・風しんの予防接種方法が変わります (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_3.html)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

アデノウイルス感染症 3 例です。咽頭所見あり。発熱でチェック A（+）

インフルエンザ 8 例 週末は増加傾向？

【一宮市 あさのこどもクリニック】

インフルエンザ 4 名 すべて A 型

感染性胃腸炎流行中

水痘、流行性耳下腺炎もある。

【一宮市 後藤小児科医院】

感染性胃腸炎はノロウイルス様の印象を持っております。

水痘が流行中です。

【一宮市 城後小児科】

この一週間でインフルエンザ(+)142 人うち 20 歳以上 67 人 すべて A 型 前週の 2.4 倍 全年齢層に広がってきている。

【一宮市 一宮市立市民病院】

インフルエンザ高齢者には出ていません。ワクチンの効果ではないでしょうか・・・

【一宮市 医療法人かすがい内科】

インフルエンザ 11 例（全て A 型）ワクチン接種者 7 例 いずれも軽症

R S 感染症 11 例で、週の後半はほとんどなし。

水痘散発

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

A 型インフルエンザが散見されますが、大人は 37~38 の軽症が多いようです。

児童間での感染例が見られる様になりました。

胃腸炎も続いています。カンピロバクターも時々見られます。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザはまだ少ないようです（A 型 4 例、B 型 1 例）

【江南市 河野小児科】

インフルエンザ増加してきました（すべて A 型）

溶連菌感染症 10 名、アデノウイルス感染症 2 名ありました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

A 型インフルエンザ 7 名

【師勝町 田中クリニック】

インフルエンザが増えて参りました。その中ワクチン接種者が 5 名あります。

【春日町 丹羽医院】

今シーズン初めてのインフルエンザが出ました。全員 A です。ただし、散発的のようです。

【清須市 医療法人治門会山田医院】

尾張東部地区

ロタを含む感染性胃腸炎が多くみられます。

病原大腸菌 O1 5 歳男

インフルエンザは 4 名みられましたが、A 型で、ワクチン接種未でした。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザは A 型のみで少し増えてきたようです（ワクチン 2 回接種児の患者 2 例）

流行性耳下腺炎小流行持続、手足口病今週も 1 例ありました。

その他、溶連菌感染症、水痘、等胃腸風邪は少し減少傾向です。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科】

A 型インフルエンザ 7 名

【豊明市 豊明団地診療所】

胃腸カゼ相変わらず多いです。

インフルエンザ A 増えています。

【春日井市 春日井市民病院】

A 型インフルエンザ 4 例

ロタ胃腸炎増加

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザ増加傾向（すべて A 型）

R S ウイルス感染症は減少傾向

ムンプス髄膜炎の入院あり。

アデノ、ロタの入院あり。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザはすべてA型
1例はワクチン1回すみの40代女性
【春日井市 竹内医院】
インフルエンザはすべてA型です。
嘔吐のみで感染性胃腸炎と紛らわしい
溶連菌感染症が見られます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
ロタ 6歳男
インフルエンザ A型 男2名 女5名
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
インフルエンザA 12人 うちインフ
ルエンザ予防接種2人
【半田市 医療法人林医院】

インフルエンザすべてA型
【半田市 半田市立半田病院】
A型インフルエンザ10名
【南知多町 医療法人大岩医院】
インフルエンザ全てA型
【東海市 東海市民病院】
今週よりインフルエンザ急増 すべてA
型です。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

1歳女2名、6歳男、9歳女、11歳男3名
ポクテムインフルエンザA/B A(+)
4か月女 RSVエグザマン(+)
4歳男女、10歳女 StrepA(+)
1歳男 ラピッドテスト ロタ/アデノ
アデノ腸炎
6歳男 ラピッドテスト ロタ/アデノ
ロタ腸炎
4歳男 イムノカードSTアデノ(+)
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザA 8名
【豊田市 田中小児科医院】
1歳女 病原大腸菌O18
3か月男 病原大腸菌O25
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
病原大腸菌O1(+)
2歳男
インフルエンザは全てA型
嘔吐の子が目立つ
【岡崎市 花田こどもクリニック】
37歳女、5歳男 インフルエンザA型
(ワクチン接種あり)
2歳女、2歳女、5歳女 インフルエン
ザA型(ワクチン接種なし)
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
1歳女 病原性大腸菌O18 VT(-)
2歳女、3歳男、3歳女、30歳女 イン
フルエンザA型
9歳男 病原性大腸菌O119 VT(-)
カンピロバクター
11か月女 病原性大腸菌O128 VT(-)
【岡崎市 にいのみ小児科】

20歳女 マイコプラズマ肺炎
インフルエンザは全てA型(ワクチン接
種者30%)
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
インフルエンザ5例全てA型(ワクチン
接種済み2例、未接種3例)
【岡崎市 栗屋医院】
インフルエンザA型4名(ワクチン接種
済み1名)
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
引き続き感染性胃腸炎が目立ちます。
インフルエンザ増え始めました(すべてA
型)。
RS感染症もいます。
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザAが流行してきました。
【刈谷市 まついこどもクリニック】
FluA 3、Rota 5
【刈谷市 田和小児科医院】
インフルエンザ検体数149件
すべてA型
【安城市 安城更生病院】
RS感染 2名
アデノ感染 2名
インフルエンザ感染 9名A型
溶連菌感染 4名
【知立市 宮谷クリニック】
ロタウイルス 1歳男
感染性胃腸炎、ムンプスが流行しています。
【三好町 三好町民病院】

インフルエンザA型 5人
 【西尾市 西尾市民病院】
 インフルエンザ5名全てA型(ワクチン
 接種済み1人)
 成人に感染性胃腸炎多くみられました。
 【西尾市 山岸クリニック】

インフルエンザが増えてきました。
 全例A型です。
 【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

9歳男 カンピロバクター腸炎
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
 再びムンプス増えてきました。
 インフルエンザA型散発中です。
 【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
 インフルエンザは再び増えてきていま
 す(すべてA型)。
 1歳女 ヘルペス歯肉口内炎
 3歳女、9歳男 アデノ扁桃炎
 【豊橋市 野村小児科】
 インフルエンザA陽性 8名でした。
 【豊橋市 おだかの医院】

水痘ふえてきました。幼稚園で流行中と
 のことです。
 突発疹の熱性発疹が3名入院しました。
 【豊川市 豊川市民病院】
 インフルエンザ発症あり、ワクチン接種例
 が1名あり、今のところA型です。
 【田原市 かわせ小児科】
 MCL S(川崎病) 2名
 RS感染まだ多い。
 A型インフルエンザ、ボツボツ
 【蒲郡市 蒲郡市民病院】

一～三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

発生報告なし

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

E型肝炎1例 (推定感染地域:バングラデシュ)
 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hev.html>)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例 (3週報告分)
 (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/streptococcus_pyogenes.html)

トピックス

集団かぜの患者発生状況について

	県		名古屋市		豊橋市		岡崎市		豊田市		合計	
	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数
1/18現在	258	182	27	25	22	12			15	12	322	231
前年同期			13	9							13	9

- 注1 県には名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市の患者数及び欠席者数を除く。
 2 患者数、欠席者数は、学級閉鎖等防疫措置を実施したものについて計上
 3 欠席者数は、患者数のうち欠席した者を再掲として計上

集団かぜの発生等についての詳細はネットあいちの記者発表資料をご参照下さい。
 記者発表資料 (<http://www.pref.aichi.jp/service/kisya/>)

病原体検査情報

平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況(速報)

2006 年 1 月 16 日現在

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	急性脳炎	インフルエンザ
患者数	192(113)	45(19)	83(1)	10	19(4)	32(10)	12(4)	66(45)
PV-1	2(2)	-	-	-	-	-	-	-
PV-2	2(2)	-	-	-	-	-	-	-
PV-3	2(1)	-	1	-	-	-	-	-
CV-A4	-	-	1	-	-	-	-	-
CV-A5	-	-	1	-	-	-	-	-
CV-A6	-	7	15	-	-	-	1	-
CV-A10	-	2	31	-	-	-	-	-
CV-A14	-	1	-	-	-	-	-	-
CV-A16	-	8(2)	-	-	-	1	-	-
CV-B3	-	-	-	-	-	2	-	-
CV-B4	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
CV-B5	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
EV-71	-	2(2)	-	-	-	1(1)	-	-
E-3	1	-	-	1	-	-	-	-
E-7	1	-	-	-	-	-	-	-
E-30	-	-	-	-	-	1	-	-
HPeV-1	6(1)	2(1)	-	-	-	-	-	-
Flu.A(H1)	-	-	-	-	-	-	-	21(21)
Flu.A(H3)	-	-	-	-	-	-	-	29(14)
Flu.B	-	-	-	-	-	-	-	1
Reo 2	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
Rota A	4	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G1	11(8)	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G2	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
Rota A-G3	3	-	-	-	-	-	-	-
NV-G2	15(10)	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	3(2)	1	-	-	-	-	-	-
Ad-3	2	-	-	4	2	-	-	-
Ad-4	-	-	-	-	1	-	-	-
Ad-5	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	8(2)	-	-	-
Ad-37	-	-	-	-	2	-	-	-
Ad-41	4(2)	-	-	-	-	-	-	-
HSV-1	-	-	1	-	-	-	-	-
検査中	59(59)	12(12)	1(1)	-	1(1)	3(3)	3(3)	7(7)
陰性	78(26)	10(2)	32	4	5(1)	22(4)	8(1)	8(3)

PV: ポリオウイルス

E: エコーウイルス

EV-71: エンテロウイルス 71 型

Flu.A(H3): A 香港型インフルエンザウイルス

Reo 2: レオウイルス 2 型

NV-G2: ノロウイルス(遺伝子型 G2)

HSV: 単純ヘルペスウイルス

CV: コクサッキーウイルス

HPeV: ヒトパレコウイルス

Flu.A(H1): A ソ連型インフルエンザウイルス

Flu.B : B 型インフルエンザウイルス

Rota A: A 群ロタウイルス

Ad: アデノウイルス

*注:()内に平成 17 年 10 月以降の患者数を再掲

平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況速報(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

冬休みが終わって黄色い帽子が目立つようになりました。安全教育が必要な物騒な昨今ですが、「お早よう」と笑いかけてやると元気な返事をしてくれる子は沢山います。いつも貴重な情報を有難うございます。1月前半のまとめをお送りします

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは感染性胃腸炎（ロタウイルスを含む）が比較的多くインフルエンザA型が散発的にみられ水痘がやや多く、入院では重症の感染性胃腸炎と喘息性気管支炎が主体でマイコプラズマ肺炎は減少傾向、城北病院渡辺先生からはインフルエンザが少々とアデノウイルス陽性の胃腸炎あり、増加も減少もしていない、マイコプラズマ感染症時々、RSV感染症は横這い、ムンプス散発、川崎病がやや多い、第二日赤岩佐先生からはロタとロタウイルス以外のウイルス性腸炎が目立ち入院も多く、RSウイルス感染症も多いがインフルエンザはまだいない、千種区今枝先生からは1月12日発病の39.5 までの発熱と上気道症状、関節痛の17歳女性、翌日の検査でインフルエンザA陽性、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎6名（病原性大腸菌O-01、O-143、O-146、O-166、各1~2名、入院1名）A型インフルエンザ2名（気管支肺炎合併、入院）水痘1名、咽頭アデノウイルス感染症1名（入院）RSV感染症の入院1名、急性気管支炎の入院4名、中京病院柴田先生からはインフルエンザAが増加中で水痘もすこしあり、大同病院水野先生からはインフルエンザが少しずつ増加、特に学校が始まった第2週から目立ち（熱性痙攣で入院例あり）、ロタウイルスの胃腸炎が多く脱水による入院例が目立ち、水痘が意外に多いとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは昨年12月から感染性胃腸炎が多発中でムンプス、水痘が散発、A型インフルエンザが散発、江南市昭和病院小児科からはウイルス性胃腸炎が目立ち、A型インフルエンザが1月11日から増加（入院目立つ）溶連菌感染症、RSウイルス感染症の入院例が目立つ、常滑市民病院高橋先生からは元旦以降水痘が多く、ウイルス性胃腸炎（嘔吐>下痢、数日で改善）が目立ち、インフルエンザAは3例だけ、ロタ以外のウイルス性胃腸炎の入院が多く、RS細気管支炎による入院（重症2名）が目立ち、マイコプラズマ肺炎がちらほら、サルモネラ腸炎も少々とお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはインフルエンザAが少しずつ出てきた、RS抗原陰性の喘息性気管支炎の入院が目立つ、加茂病院梶田先生からはインフルエンザAが1日1名くらいあり、ロタウイルス胃腸炎がやや増加（入院例が少しずつ増加）嘔吐を主とする胃腸炎（ノロウイルス？）の入院とRSウイルス感染症の入院がとても多い、ムンプスの流行が続いている、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎が多く新年になってからロタ陽性例が目立つようになった、A型インフルエンザ数例、水痘と溶連菌感染症がパラパラ、とお手紙でした。有難うございました。

2006 年 1 月 6 日（81 巻 1 号）<http://www.who.int/wer/2006/wer8101/en/index.html>

鳥インフルエンザ。中国の近況：05 年 12 月 30 日、中国健康省がインフルエンザ H5N1 の人感染新規確認例 1 例を報告。41 歳女性。福建省東南部居住。12 月 6 日、発熱に続く肺炎で発病、2 日後入院、12 月 21 日死亡。13 日の検査では陰性であったが 23 日北京の疾病センターの PCR 法を含む検査で H5N1 と確定。患者との接触者に発病者なし。現在まで、患者の居住地区の養鶏場の鶏からは H5N1 は陰性。患者の感染経路などについて調査進行中。この例で中国の人 H5N1 感染例累計 7 例（死亡 3）。

鳥インフルエンザ。インドネシアの近況：05 年 12 月 23 日保健省発表。人 H5N1 感染新規確認例 2 例。1 例目は 8 歳男。中部ジャカルタ。12 月 8 日発熱と咳で発病、13 日入院、15 日死亡。家族と接触者に発病者なく検査陰性。飼っていた鳩など感染源を検索中。2 例目は 39 歳男性。東部ジャカルタ。発熱、咳、頭痛、息切れで 12 月 9 日発病。11 日入院、13 日死亡。家族と接触者の監視中。患者自身は鶏を飼っていないが近所に養鶏場あり、感染源調査中。この例でインドネシアの累計 16 例（死亡 11）。

予防接種作戦助言グループ（Immunization Strategic Advisory Group）の勧告：作戦 助言専門家グループ（Strategic Advisory Group of Experts, SAGE）は 1999 年に WHO 事務総長の下に予防接種・ワクチン・生物製剤部門（Immunization Vaccine, Biologicals, IVB）ガイドライン作成と勧告に従事している。本報は 05 年 11 月 9～11 日の SAGE 会議の概略である（注：10 ページに及ぶ長文。過去の週報と重複するので抄訳）。WHO 各地域における対策の優先順位、主要方針、施策実行上の問題点：WHO スタッフからアフリカ、南北アメリカなど各地域事務局経由で届けられる報告に基づいて SAGE は行動計画、特に現在問題となっている予防注射の安全性推進についてのワークショップの実情調査と勧告を実施。ワクチン普及がこの千年間の健康増進に最も重要な作戦であり、今後各地域における種々の感染症の重み（Burden）と予防接種の経済効率についてさらに信頼出来るデータの重要性が強調される。

重点は HIV 感染が高度に拡大している地域住民、マイノリティーグループ、ホームレス、難民、災害被害者などの感染症対策であり、正確な情報に基づく政策決定と財政的支援であり、時には中央政府だけでなく地方自治体の支援も必要となる。他の WHO 予防接種関連各委員会からの報告：SAGE は基本的な予防接種に関する各種の勧告委員会（ワクチン安全に関する世界勧告委員会、生物製剤標準化委員会、安全優先性行動委員会、ワクチン研究勧告委員会、ポリオ根絶勧告委員会など）からの報告を重視し今後も情報収集を継続、重点は 予防接種の安全性、1 型ポリオ単味ワクチン、不活化ポリオワクチン、ポリオ野生株常在地のポリオ根絶。地球規模の予防接種作戦：ユニセフ / WHO は 予防接種普及、新ワクチン開発と新技術導入、予防接種の統合、関連健康増進活動と連携したサーベイランス、国際相互依存の面からの予防接種共同作戦。新型インフルエンザワクチンの準備：新型インフルエンザワクチンの必要量は従来の製造法では 9 億人分と推定される。アジュバントの添加、皮内接種導入など接種量減少と製造法改良で供給増大が期待される。鳥ワクチンの製造業者の人ワクチン製造認可は慎重であるべきであり、現行ワクチンに新型ワクチンを混合するよりはパンデミー発生後に緊急で新型単味ワクチンを接種、一方で現行ワクチンの普及運動をしたい。B 型インフルエンザ桿菌ワクチン：髄膜炎と肺炎に対する有効性と安全性から、接種の普及を勧告。ロタウイルスワクチン：現在治験中（一部の国では認可）のワクチンが 2 種類あり、南米の大規模接種試験では以前問題となった腸重積とは関連なく、安全性、有効性共に良好、現在アジア地区で治験進行中。将来定期接種に組込まれることが望ましいが下痢対策として経口

輸液は重要であり、普及活動は急務である。 ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン：SAGEは途上国を中心としてHPV関連子宮癌の重要性を重視、現在治験中のワクチンについて支援を勧告している。 肺炎球菌ワクチン：有効性と安全性から接種対象者（ハイリスク者）拡大のための情報提供、動機づけ活動の推進を勧告、将来は5歳以下小児のインフルエンザ桿菌、ロタウイルスワクチン同時接種の検討を勧告。 地球規模の予防接種スケジュールの検討が重要である。

1月2～5日届出。コレラ：ギニアビサウ、リベリア、マラウイ、セネガル、ザンビア

2006年1月13日（81巻2号）<http://www.who.int/wer/2006/wer8102/en/index.html>

鳥インフルエンザ。中国の近況：中国健康省報告。8例目の人H5N1感染確認例。6歳男。湖南省南部。12月24日発熱と肺炎症状で発病入院。現在症状は安定。地区の養鶏場に鶏大量死があったが報告されていなかった。

鳥インフルエンザ。トルコ：1月9日と10日、保健省報告。人H5N1感染確認（トルコ検査センターと英国WHO標準検査センターで確認）15例。殆どが小児、病鶏と接触あり。病鶏処理による封じ込め作戦進行中。タミフル10万人分が到着、当局は治療と予防に使用検討中。WHOはタミフル準備と検査網支援の予定。事務局長現地訪問。

ワクチンの安全に関する世界助言委員会(Global Advisory Committee on Vaccine Safety, GACVS)。第13回委員会の助言：05年12月1～2日委員会開催（長文。抄訳。前号のSAGE勧告と重複している部分は省略）。ワクチン安全性ネットが04年8月から活動中：http://www.who.int/immunization_safety/safety_quality/vaccine_safety_websites/en/ 新型インフルワクチンの安全性：前号参照。アジュバントの安全性：現在添加剤として広く使用されていて、新型インフルワクチンにも使用の可能性のあるアジュバントの安全性の検討を勧告。ロタウイルスワクチン：前号とほぼ同じ。接種後60日間の腸重積発生リスク低いというエビデンスをさらに検討すること、乳児期早期の接種の必要性のエビデンスの検討、などが勧告されている。麻しんワクチンによるSSPE：英国、米国の公的機関によるデータ解析からは自然麻しん罹患の発生よりは低かった。B型肝炎ワクチン接種後の慢性疲労症候群：カナダから報告。委員会の検討では関連は認められなかった。髄膜炎菌ワクチンとギランバレ症候群：髄膜炎菌ワクチン接種後のギランバレ症候群発病が米国で数例報告。委員会の検討では因果関係は認められなかった。

結核。新しい治療方針による治療期間短縮：12月16日、第45回抗生剤カンファレンス。南アフリカ・ダーバンで新規結核患者に対するカティフロキサシン又はモキシフロキサシン2か月間投与の第2相治験を実施、従来のWHO方式と比較して有効であり治療期間が短縮。第3相治験をアフリカ全域の国際協力で実施予定。

1月6～12日届出。コレラ：ベニン、マリ、ウガンダ

愛知県感染症情報

2006年第1週～第2週(平成18年1月2日～平成18年1月15日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	125	2,406	66	345	2,826	706	84	39	187	0	1	6	0	421	1	44	1	0	10	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	113	1,953	53	250	1,925	561	55	32	140	0	1	6	0	371	1	32	1	0	10	0	0
名古屋 名古屋市	70	70	11	14	1	12	453	13	95	901	145	29	7	47					50		12					
尾張 東部 瀬戸	9	9	2	3	1	24	95	7	20	80	34	5	2	3			1		27		2			3		
海部 津島 津島	7	7	2	2	1		75		11	158	33	7		3					10		2					
尾張 中部 師勝	4	4	1	1			53		8	48	5			3					14		2					
尾張 西部 一宮	16	12	3	4	1	3	319	3	10	135	65	3	3	8					23		4			2		
尾張 北部 春日井	9	9	2	3	1	16	181	16	29	151	69	17	4	10			3		90		5	1				
	江南	6	6	1	2		61	4	28	134	24			14			1		28		2					
知多半島 半田	6	6	1	2	1	2	119	2	16	69	37	8	5	14					4							
	知多	7	7	2	2		141	4	8	151	46	1	5	17					10		3					
西三河 南部 岡崎市	11	7	2	2	1		89		6	108	37	5		12		1			10							
	衣浦東部	13	13	2	4	1	10	280	6	43	230	58	3	4	15				30		4					
	西尾	5	5	1	2	1		61		6	104	34	1	8					10	1	1			1		
西三河 北部 豊田市	9	9	2	4	1	4	247	3	18	231	34	3		10					13		6			1		
東三河 南部 豊橋市	12	8	2	4	1	17	138	6	30	171	39		1	11			1		53		1			2		
	豊川	9	8	1	2	1	7	62	2	17	155	46	1	8	12				47					1		
東三河 北部 新城	2	2			1		32					1							2							

